

# 施策評価シート(令和2年度実績評価)

## 施策の基本情報

政策No	0206	政策名	健康づくりの推進	施策主管課	健康づくり課	課長名	長山 義博			
政策の目指す姿	心身ともに健康に暮らしています									
施策No	01	施策名	健康づくりの支援	関係課名	契約管財課					
施策の目指す姿	健康に対する意識が高まっています									
現状と課題										
<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝食をとる人の割合が、幼児・小学生・中学生・高校生・20歳代男性で減少しています。</li> <li>健康のため食事に気をつけている市民の割合は約5割、意識的に運動をしている市民の割合は約3割と、健康への意識が低い状況です。</li> <li>平成29年の状況では、花巻市民の国保加入者の13.1%が糖尿病と診断されています。特定健診未受診者や医療機関未受診者の存在を勘案すると、この割合がさらに高くなるのが想定されます。</li> <li>本市の自殺死亡率は横ばい傾向ですが、岩手県、全国の値より上回っています。</li> <li>感染症の発生や蔓延を予防するため、法に基づく予防接種を実施しています。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児から若い世代に対し、将来の健康問題が発生する可能性を抑えるために、朝ごはんを食べる習慣の啓発が必要です。</li> <li>健康的な食事や運動習慣の必要性について理解していても行動に移せない人へ、食事の方法や運動の習慣化の啓発が必要です。</li> <li>糖尿病についての正しい理解と、健（検）診による早期発見、早期受診のほか、糖尿病予防のための食生活や運動などの生活改善への取組が必要です。</li> <li>体の健康のほか、「こころの健康（自殺予防）」への取組も重要になっています。</li> <li>予防接種について対象者が予防接種の必要性を理解し接種されるよう、周知する必要があります。</li> </ul>										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病など生活習慣病の重症化予防について、医師会や歯科医師会、薬剤師会などと連携しながら健康アップ講座などを通じて健康課題解決に向けた取り組みを継続して実施していく。</li> <li>感染症対策について新しい生活様式の実践を周知し、市民の感染症リスクを軽減させる必要がある。感染症リスクの軽減を図ったうえで安心して健康づくり事業や食生活改善推進事業に参加してもらえるような取組が必要である。</li> <li>H31年度に実施した特定健診やがん検診における商業施設での実施や夕方の時間帯での健診（検診）実施は受診率向上につながっているため、R2年度も引き続き実施していく。併せて特定健診にけるAIやソーシャルマーケティングの手法を用いた再勧奨の取り組みを行っていく。</li> </ul>										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病など生活習慣病の重症化予防について、医師会や歯科医師会と連携しながら、「糖尿病と感染症」をテーマに健康アップ講座を実施。参加者アンケートから、意識の変容が見られた。</li> <li>感染症対策、新しい生活様式の実践を広報等により市民へ周知しながら、感染症リスクの軽減を図ったうえで健康づくり事業や食生活改善推進事業に取り組んだが、感染拡大防止の観点から、一部縮小・中止も生じた。</li> <li>受診率向上のため、特定健診やがん検診の商業施設での実施や夕方の時間帯の健診（検診）、特定健診におけるAIやソーシャルマーケティングの手法を用いた再勧奨を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。</li> </ul>										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事や運動、正しい健康情報の普及啓発：健康アップ講座の開催</li> <li>望ましい食生活や運動の実践など健康づくりへの支援：健康アップ講座、食育講座の開催</li> <li>医師会や歯科医師会など関係機関と連携した各種健康講座などの実施：健康アップ講座の開催</li> <li>口腔機能の維持の重要性など、歯科保健の普及啓発と歯科健（検）診の実施：成人、妊婦歯科検診の実施</li> <li>各年代に向けた食育講座などによる食育の普及啓発：食育講座、伝達講習会の開催</li> </ul> <p>(2) 生活習慣病の予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防に向けた自己管理（セルフケア）の普及啓発と支援：健康づくりフロンティア事業、自動血圧計の貸出</li> <li>健（検）診の受診率向上と個別の特性に応じた保健指導の実施：未受診者への受診勧奨、特定保健指導の実施</li> </ul> <p>(3) 感染症予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予防接種の実施と普及啓発：予防接種の実施、中学生以下の子ども及び妊産婦のインフルエンザ予防接種へ費用助成（拡大）、市ホームページ、広報はなまき、コミュニティFMや保育園へのチラシによる啓発の実施</li> </ul>										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
食事に気をつけている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、普段から食事に気をつけているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート 問：あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(4)食事に気をつけているを選んだ市民の割合	%	目標値	58.80	60.60	62.40	62.40	62.40	62.40
				実績値	59.90	55.60	54.80	47.50		
健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、意識的に運動しているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(3)健康増進のために意識的に運動しているを選んだ市民の割合	%	目標値	38.40	40.30	42.20	34.00	35.00	36.00
				実績値	31.90	33.90	33.10	27.60		
定期的に健康診断などを受けている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、定期的に健康診断を受診しているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(1)定期的に健康診断などを受けているを選んだ市民の割合	%	目標値	73.00	73.50	74.00	76.50	76.70	76.90
				実績値	74.50	76.10	76.77	70.10		

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「食事に気をつけている市民の割合」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート年代別クロス集計では60代以上で低い状況である。地域に根付いた活動を推進している講習会等が新型コロナウイルス感染予防のため減少したことが要因として挙げられる。(食生活改善伝達講習会R1:173回、R2:34回)</li> </ul> <p>成果指標「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度と年代別のクロス集計を比較すると、40歳～49歳は前年度より上昇しているが、その他の年代のほとんどが減少傾向であった。40歳～49歳はメタボの割合が上がっており、検診結果等を踏まえて運動の必要性を意識し始めていることが伺えるが、コロナ禍における外出自粛の影響を受け、幅広い世代で運動の機会が減少したことが要因の一つと考えられる。</li> </ul> <p>成果指標「定期的に健康診断を受けている市民の割合」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を受け、検診日程の減少や大幅な日程変更が生じた。また、従来は追加検診日を設け、再動線を引いて受診へつなげていたが、追加検診日を設けることができなかった。外出自粛の中、受診控えも相当数生じたものと思われる。</li> </ul>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(健康づくり推進事業)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、保健推進委員に参加・協力いただく各種研修会や各種健康づくり事業等が減っているが、今後予定する新型コロナウイルスワクチン集団接種にスタッフとしてご協力いただくことを検討する。</li> <li>・(健康診査事業)パンフレットや広報等で周知啓発するとともに、特定健診に関してもかかりつけ医から受診勧奨チラシを配布いただく。また、土日や夕方の検診を設け、住民が受診しやすい環境づくりに取り組む。</li> <li>・(歯科保健事業)新型コロナウイルス感染症の影響で歯科医院での受診率が下がることが懸念されるが、機会をとらえて幅広い年代に対して歯科保健、口腔衛生についての知識啓発に努め、歯科検診の受診率向上を目指す。</li> <li>・(感染症予防事業)予防接種や感染症予防に対する正しい知識の普及啓発や情報を適切な時期をとらえて周知し、感染症の発生やまん延予防に努めることにより予防接種の接種率向上を図る。</li> </ul>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(食生活改善推進事業)新型コロナウイルス感染症拡大の影響で調理実習等が実施困難となっており、ICTを活用した生活習慣病予防に関する情報発信を推進する必要がある。</li> <li>・(健康教育相談事業)新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでの教室型の健康講座の開催が難しいことから、ICTを活用した新たな手法によって取り組む必要がある。</li> </ul>

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、保健大学など高齢者層の参加が多く、教室型で行う事業の実施が困難となっており、代替の手法が必要がある。</li> <li>・食生活改善推進事業についても、感染予防の観点から保健センターでの調理実習を控えたほか、自治公民館等での伝達講習も開催時期の設定が困難なものがあり、実施回数が減少したことから、代替の手法が必要である。</li> <li>・コロナ禍において、従前の画一的な検診勧奨方法では受診率向上が期待できない。住民が安心して受診できる環境づくりと受診しやすい時間等の設定などを進める必要がある。</li> </ul>
<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康課題の解決に向け、医師会や歯科医師会、薬剤師会をはじめとする関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら健康づくり講座等の対面型事業の継続実施を図るほか、講座や運動の動画配信など、ICTを活用して幅広い年代へ普及啓発を図る。</li> <li>・食生活改善推進員による生活習慣病予防に関する対面式での知識の普及を新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら実施するほか、全国的に広く活用されているアプリ「クックパッド」を活用し、食育情報を広く紹介・発信していく。</li> <li>・検診受診率向上に向け、委託先機関と協働しながら、感染予防対策をさらに徹底し、その取り組みを検診案内通知と合わせてお知らせするなど、住民が安心して受診できるよう努めるとともに、土日や夕方などにも健診を実施することで、受診しやすい環境づくりに取り組む。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
010	<b>健康教育相談事業費</b> 健康相談や健康教育を実施 (健康講座、健康相談の参加者数 1,274人)	健康づくり	一致	直結	B
			直結度 A		
020	<b>健康づくり推進事業費</b> 保健推進委員による地域への普及啓発を実施 (保健推進委員の事業協力者数 800人、献血本数(200ml) 4,400本)	健康づくり	一致	間接・補完	C
			B		
030	<b>食生活改善推進事業費</b> 食生活改善推進員により生活習慣病予防に関する知識の普及を実施 (食生活改善伝達講習会 34回)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
040	<b>健康診査事業費</b> 各種がん検診を実施 (受診率大腸がん 32.9%、乳がん 39.5%、子宮頸がん 30.7%)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
050	<b>歯科保健事業費</b> 成人歯科健診、歯周病予防検診を実施(歯周病予防検診受診率 15.4%)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
060	<b>保健センター整備事業費</b> 公共施設マネジメント計画に基づきR2年度～R5年度に花巻保健センターの施設改修を行う。令和2年度は花巻保健センターの空調設備改修実施設計、アスベスト含有事前調査を実施。	健康づくり	間接・少数	間接・補完	-
			C		
070	<b>感染症予防対策事業費</b> 予防接種法により各種予防接種を実施 (風しん・麻しん混合2期の接種率 94.0%、インフルエンザ予防接種率(子ども) 70.6%)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
071	<b>感染症予防対策事業費</b> 狂犬病予防法により予防接種を実施 (狂犬病予防の接種率 93.0%)	健康づくり	間接・少数	間接・補完	-
			C		
080	<b>医療用補正具購入支援事業費</b> がん患者に対し、医療用補正具(ウイッグ)購入費の一部を補助 (医療用ウイッグ購入補助 22人)	健康づくり	間接・少数	間接・補完	-
			C		
090	<b>感染症予防緊急対策事業費</b> 新型コロナウイルス感染症拡大の対応のため、子どもインフルエンザ予防接種費用の助成を拡充 (対象を中学生まで引上げ、妊婦も対象に追加:助成 3,000円/回)	健康づくり	一致	直結	-
			A		
100	<b>公共施設等感染症予防対策事業費</b> 公共施設の感染症予防対策 (市議場空調設備改修)	契約管財	間接・少数	間接・補完	-
			C		
110	<b>新型コロナウイルスワクチン接種事業費</b> 新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保 (健康管理システムの改修、接種券印刷)	健康づくり	一致	直結	-
			A		
140	<b>新型コロナウイルスワクチン接種事業費</b>	新型コロナ			